



## 子どもの村 東北

# News letter



外に出られなくても、いっぱい遊びたい！

第6回

### おじゃまします。

初めて村を訪れた私と、村の人たち

今回出会ったのは、昨年春からこの村で働くファミリーアシスタントの大沼さん。子どもたちを見守り、育親（里親）さんの子育てと生活を支えるこの村に不可欠な存在です。「コロナ禍でみんながストレスを抱える今、子どもたちのケアはもちろん、それ以上に育親さんたちへの声がけが大切だと思っています」と話す大沼さん。育親さんの家でお茶を飲みながら日々の思いに耳を傾けることもあったといいます。「毎日子どもと向き合っていれば叱り

たくなる時だってあるはず。でもそれは子どもたちと真剣に向き合っているからですよね。そんな時、私はスタッフという少し冷静な立場でいることで育親さんたちの力になれたらと思うんです。もちろん育親さんたちの子育ての方針が何よりも大切。その上で私に何ができるのかを考えています」。育親さんたちの懐に飛び込みながらも心に寄り添う。朗らかで和やかな大沼さんらしい優しさを感じた瞬間でした。

コロナ禍の冬となり、室内で過ごすことが多いこの頃。しかし「子どもたちと一緒に体を動かすのが大好き」という大沼さんは、ボール遊びや将棋、けん玉などで子どもたちと楽しい時間を過ごしています。工作では「既存のおもちゃで子どもたち

と遊ぶより、下手でもいいから想像力を働かせて自分なりのおもちゃを作つてほしい」というこだわりも。ペーパークラフトで車を作つたり新聞紙でバットとボール、グローブを作って野球をしたりと、創作の楽しみと独創性を伝える大沼さんの工夫が光ります。

「今後は地域との交流を深めたい」と教えてくれた大沼さん。「もっと地域とつながることで、子どもたちだけじゃなくこの村にとってもおもしろいことが待つていると思うんです。地域全体でこの村を活用していくらいいですね」。きっと次に村を訪ねる時には、人々のつながりの輪が子どもの村に新しい色を加えているはずです。（文・及川）

# 子どもの発達に大切なこと

近年、虐待や育児放棄などのニュースが広く報道され、「愛着障害」や「発達障害」という名称もよく耳にするようになりました。子どもたちを取り巻く厳しい環境の原因は何か。そして、親にできることはどんなことなのか。子どもの村東北常務理事で小児科医の岩城利充さんに話を聞きました。

## 僕たち私たちにとって、世間は優しい？

人間の記憶は何歳頃からあると思いませんか？実は、3歳頃から形成されるといわれています。しかしそれ以前の記憶は消えてしまったわけではありません。それどころか親子の触れ合いなどの体験から、自分にとって世の中は信頼できるのか、もしくは自分をひどい目に合わせる予測不能な世の中



## 「自分は愛されている」と実感することの大切さ

「愛着障害」は、こうした幼い頃の体験の中で「自分は大事にされている」と感じることが少なかったことがあります。私がこれまで診察した中でこんなことがありました。家庭内での暴言や暴力が絶えない小学1年の男の子。母親が「この子のことが可愛いと思えない」と診察に連れてきました。男の子から話を聞くと「弟が生まれたことでお母さんが自分をかわいがってくれなくなった」というのです。私はその男の子にこう答えました。「君のことを心配していなければ、お母さんは君を病院になんて連れてこないよ」と。さらに、「お母さんが、君が

生まれてどんなにうれしかったか想像してごらん」と。そんな話をすると、母親も当時のことを思い出してか涙ぐんだりする。その涙は我が子を大切に思うからこそですよね。母親もまた、自分の子どもを大切に思っている気持ちを伝え切っていないのです。2人の気持ちが寄り添ったタイミングを見て、指切りげんまんをしてもらいました。さらに母親には我が子に「大事な子だよ」と声をかけ、気持ちに無理がない時は抱きしめてもらうようにもしています。

## 大切な思いを、言葉で、体で伝える

子どもが「自分は愛されている」と実感するため、そして親が我が子に「あなたは大切な存在だ」と伝えあげるために大切なのは、「叱るのをやめる」「意識的に褒める」「体を触ってあげる」の3つ。自分の思いを言葉にしたり触れ合ったりすることでしか愛

は伝わりません。自分の感情を表現することが苦手なお母さんは意外に多いものです。どんな子でも“自分は大事に思われている”と実感するだけで幸せになれる。そして、行動も変わっていくのです。「安心できる」「自分が受け入れられている」という気持ちがないと、子どもは次の発達の課題に進むことができません。子どもも大人も生きる上で一番の土台は、自分は大事にされているという実感です。「愛着」が重要なのです。

## 親は、子どもにとっての“安全基地”

子どもは心配事や不安があると、まず親のところに行き不安をなだめる行動をします。そして安心できたら、また新しい場所へと探索に出かけて行く。それを繰り返し、自分の世界を拡大していきます。子どもにとって親は“心の安全基地”なのです。だからこそ「子どもの村東北」では養育を

通じて子どもたちに安心感を与え、守り、慰め、受け止め、見守るように努めています。「大好きだよ」「一緒に楽しもう」と伝えています。また子どもにとっては、“何でもない時間を一緒に過ごす”ことがとても大切なのです。この村には、これまで家庭に心の居場所がなかった子どもたちが来ていることが多いため、ごく普通の日常を普通に過ごす経験が少なかった。しかしそうした“普通の時間”を穏やかに過ごす体験の積み重ねが子どもたちにとっては極めて重要なのです。

### PROFILE

#### 岩城 利充（いわき としみつ）

子どもの村東北常務理事。公立黒川病院小児科科長も務め、一般診療のほか虐待防止や子どもの行動異常、発達障害への対応・診察を行っている。

# いろいろな 支援のかたち

子どもの村東北は、その多くがご寄付でまかなわれています。  
ここでは、寄付や支援の方法を紹介いたします。どうかご支援ご協力をよろしくお願い致します。

## 寄付の申込み方法



## 寄付以外の支援方法

### 遺贈

遺言により、ご自身の財産を相続人以外の特定の人や団体に分け与えること。  
遺贈先として子どもの村東北をご指定頂くと子どもたちの未来に役立てる事ができます。

### 古品回収

家の中に眠る「お宝」をダンボールに入れて贈るだけで寄付ができる「お宝エイド」。  
切手、ブランド品、骨董品、カメラ、楽器など、大掃除や引越しを機にぜひ検討してみてください。

### 募金箱・自販機の設置

ご支援を呼びかけるため、店舗レジ横や、病院や施設、会社の受付など、募金箱の設置場所を探しています。  
同様に、売り上げの一部が寄付される支援自販機の設置場所も探しております。

### 応援グッズ

商品をご購入頂くことで、売り上げの一部が子どもの村東北に寄付されます。  
楽曲 CD、ドライフルーツ、大麦グラノーラ、イノシシ革のシューズなど。

## 支援企業・団体 \ 応援 / メッセージ



情報労連  
東北ブロック支部  
情報産業労働組合連合会  
執行委員長 二浦 清

情報労連では復興支援や社会貢献を行う団体を支援しようと、組合員からカンパを募る「愛の基金」を実施しています。子どもの村東北への支援もその一環。今年で2回目となりました。震災から間もなく10年。ハード面は整いつつありますが、再び災害による悲惨な状況が繰り返されないためにも、これからを生きる子どもたちへの支援は一番大事なことだと感じています。今後も全国にいる組合員の大きな組織力で長い支援を続けていきたいです。

## スタッフおすすめ 図書

### 『かしこくて勇気ある子ども』

山本未希 著 / リイド社 (2020)



これから生まれてくる子どもをどんな子に育てたいか? この先に待っているのは明るい未来と、裏側にあるたくさん不安な出来事だけど理想はいっぱい、願い事はたったひとつ叶えば

いい。親も子どもも、時には大きな勇気が必要。「ギリギリまで待った方が勝ちなんだよ」この言葉に、最後は誰もが一本取られた気持ちになるはずです。分かりやすいフルカラーのマンガ形式で、すっきり読み終えることができる一冊です。

## ご支援いただいた企業・団体のみなさま

2020年7月1日～12月10日

\*敬称略・順不同

### 支援会員寄付

有限会社細谷ドライクリーニング工場、国際ソロプチミスト石巻サン・ファン  
アサヒグループホールディングス株式会社、株式会社大観楼、有限会社白川牛肉店  
株式会社ホームユニバース、(特非)黒川こころの応援団、仙台小児科医会、有限会社華丸ラーメン  
医療法人社団伊藤医院、日本インシュアランス株式会社、サンエイシステム株式会社

### 一般寄付

NTT 労働組合四国総支部、情報労連宮城県協議会、アメリカン・エキスプレス・インターナショナル, Inc.  
株式会社コミュニケーション、コールソレイユ、アサヒグループホールディングス株式会社  
ノルディックウォーキングサークルバード、鳴子温泉観光協会、宮城県遊技業協同組合、TOTO 株式会社  
田村市赤十字奉仕団連絡協議会、NPO 法人花かんむり、株式会社仙台銘板  
みちのくノルディックウォーキングネットワーク、カトリック幼きイエス会 ニコラ・バレ修道院  
有限会社ビズ・カンパニー、仙台脳血管内治療親睦会

支援会員 個人会員 944名 / 団体会員 88企業・団体 \*2020年12月10日現在

### 本年度助成頂いている団体

公益財団法人公益法人協会「東日本大震災 草の根支援組織応援基金」、  
特定非営利活動法人東日本大震災こども未来基金、情報産業労働組合連合会「愛の基金」

### 認定特定非営利活動法人

# 子どもの村 東北



資料請求・お問い合わせ / TEL: 022-281-8837

WEBサイトは [子どもの村東北](#) で検索ください。

### 【法人事務局】

TEL : 022-281-8837 / E-mail : info@cvtohoku.org

### 【子どもの村】

TEL : 022-281-9653 / E-mail : center-t@cvtohoku.org

住所 : 〒982-0252 仙台市太白区茂庭台2丁目16-9-1

FAX : 022-281-9659

※法人事務局と子どもの村の住所・FAXは共通となります

URL : <http://cvtohoku.org/>

※当法人は認定NPO法人です。当法人へのご寄付は確定申告の際、税制上の優遇措置が受けられます。